

E1.学生を育てる 第1回アンケート集計

2021年度 研修終了報告

研修名：E1.学生を育てる―第1回―

開講日：2021年5月20日（水）8:30～17:00

講師：東邦大学理学部 教授 新保幸洋 先生

参加数：19名（大森9 大橋6 佐倉4）

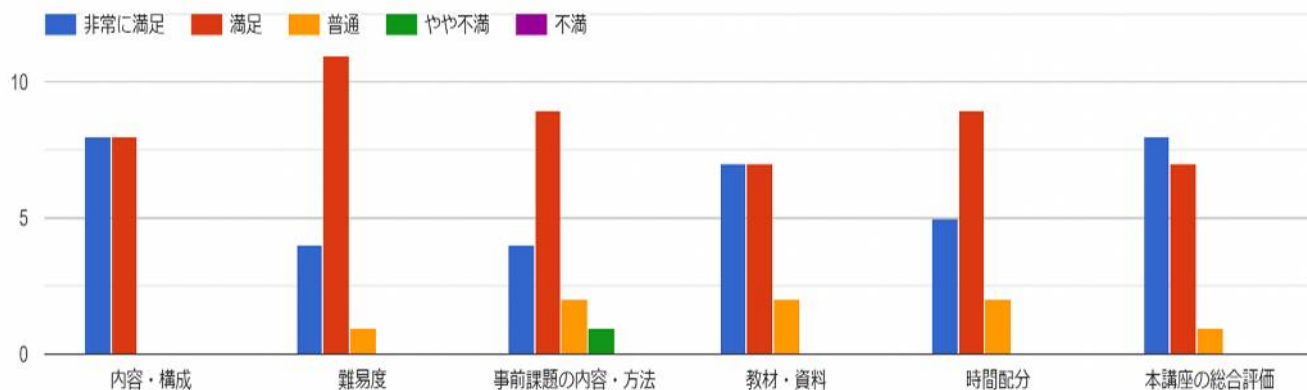
目的：基本的な教育の考え方や看護基礎教育における臨地実習の意義を理解し、学生指導者としての自分の役割を考える

目標 ①教育の基本的な考え方を理解し、臨地実習の現場の役割を述べることができる

②対象者である看護学生を理解し、臨地実習指導者としての関りを考えることができる

【受講者アンケート結果】 n=16 回答率 84.2%

講座内容



【学びになったこと・興味深かったことなど(抜粋)】

- 参加者の事例をもとに検討したで、ペアでの学び、発表者からの学び、講師からの学びがあり面白かった。
- 現代の学生特性を知ることができた。教育モデルも改めて再学習することができた。
- 学生の言動を否定せず、認める関わりが大切。学生のレベルにより指導方法を変えていく。
- 学生だけでなく新人指導に活かせることが多くありました。第2.3者の目をもって指導することが学びとなりました。教育という文字の成り立ちは興味深かったです。
- 自分の考えや経験は必ずしも相手とは一致しないということ。わかっていたつもりだったが、ハッとさせられた。
- 自分自身が生きた教材であることを知り、自分自身の今後の行動などもしっかりとしなければならぬと感じた。また、こうなりたいと思うことが人を成長させるということを改めて学べてよかったです。また、自分自身も後輩や学生を信頼していきたいと感じた。

■学生の性質や背景について、私の時代と違うので学びになりました。

【もっと詳しく知りたかったこと(抜粋)】

■それぞれの事例の先生のコメントをもっと知りたかったです。

■学生が捉える指導者への悩み等

■学生の実際の意見を聞いてみたい

【その他(ご意見・ご感想など)(抜粋)】

■自身も成長し、学生、新人も共に成長できるように指導していきたいと思います。

■教育の基本的なことから学ぶことが出来、良い機会となりました。

■これからの学生指導や、新人教育に活かしていけると感じた。また、それらを教育するスタッフへ還元できる内容であり、とてもわかりやすかったです。

■オンラインでの講義は初めてできたが、問題なく受講することができ良かったです。

■事例に沿って話し合い、ほかの人意見を聞いてそういう方法もあるのかと学びになりました。

【まとめ】

本研修の第1回目は、東邦大学理学部教養課教授の新保幸洋先生により講義動画の視聴とリアルタイムのオンライン(ZOOM)を使用したロールプレイを実施しました。講義では、教育の基礎から若者の特徴、特徴を踏まえた指導者の接し方などを学びました。午後のロールプレイでは、受講者が提出した学生との関わり場面の事例を基に、指導者・学生役・観察者の役割を交替で体験し、どのような言葉・態度が効果的な指導につながるのかを学びました。

終了後アンケートでは、課題提出の期間が短く作成が大変だったとのご意見もありましたが、講座内容・構成に加え、講座全体の評価はこう評価となり、満足度の高い研修でした。